

2年ぶり しめ縄作り

八代市・中津道阿蘇宮 住民、学生ら参加

熊本豪雨

しめ縄を作る中津道地区の住民と熊本高専八代キャンパスの学生＝八代市



昨年7月の豪雨で被災した八代市坂本町中津道にある中津道阿蘇宮で17日、秋の大祭に合わせて、2年ぶりに鳥居に飾るしめ縄作りがあった。

お宮は豪雨で浸水し一部が損壊。作業には地元住民ら約30人に、豪雨直後からお宮の復旧作業に取り組んできた熊本高専八代キャンパスの森山学教授(49)と学生7人も加わった。

専攻科1年の中村絢夏さん(21)は「縄が緩まないように力を振り絞った。貴重な経験になりました」と笑顔。自治会長の中川秀徳さん(75)は「お宮は地域の守り神。森山先生をはじめ、たくさんさんのボランティアのおかげで、ここまで進んで来られた」とうれしそうに話した。(元村彩)